



# 第42回 二水会

2017年1月11日

- ① 会長挨拶
- ② 在ベンガルール総領事館からのご連絡
- ③ 各委員会活動報告
- ④ テーマ報告:「2017年インドルピー見通し」
- ⑤ 新規会員のご紹介
- ⑥ 事務局からのご連絡

# ①会長挨拶

---



▶ 猪瀬 会長



## ①会長挨拶

---

### ■第18回 全インド日本人会・日本商工会合同連絡会について

開 催 日 : 2016年11月26日(土) 14:00～17:30

場 所 : 在インド日本国大使館 大使公邸レセプションルーム

内 容 : (第一部)各日本人会発表  
:(第二部)各商工会発表、合同討議

参 加 団 体 : 在インド日本国大使館, 国際交流基金,  
: 在インド総領事館(ムンバイ, チェンナイ, コルカタ),  
: 在ベンガルール領事事務所(現 在ベンガルール領事館),  
: 各商工会(インド、バンガロール, チェンナイ, コルカタ, ムンバイ),  
: 各日本人会・日本人学校  
(バンガロール, アーメダバード, チェンナイ, ハイデラバード,  
コルカタ, プネ, デリー, ニューデリー, ムンバイ)

---

# ①会長挨拶

---

## ■発表内容(概要)

各日本人会 : 各地域の日本人会の活動内容, 地域毎の最新の住生活環境, 会員動向の報告

各日本人学校 : 日本人学校の近況報告

各商工会 : 各地域の商工会の活動内容, 組織・役員体制, 各委員会における活動実績と予定, 会員動向の報告

在インド日本国大使館 : 合同討議「2017年日印友好交流年(仮称)」について

# ①会長挨拶

---

## ■ 合同討議

### 「2017年日印友好交流年(仮称)」について

開催時期： 2017年通年

特に10/26～11/4を日本週間とする。

内 容： 年間を通じて、日印の友好な交流を図るためのイベントを多数開催する。

方針： 一過性のイベントではなく、その後の政治的・経済的な交流のきっかけになるようなイベントを催す。

# ①会長挨拶

## 2017年 日印友好交流年 事業実施イメージ(案)

2017年	日印友好交流年行事(案) (大使館主催、国際交流基金(JF)主催等)	ベンガルールでの関連イベント
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(12日)2017年日印友好交流年オープニング・イベント／日本政府観光局(JNTO)インド事務所開所</li> <li>・(7日～15日)第25回ニューデリー国際図書展参加(JF)</li> </ul>	(28日)合同映画祭「杉浦千畝」 (21日、22日)日印共同制作劇(劇団「範宙遊泳」と当地劇団)
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜と平成の源氏物語展</li> <li>・(13日)日本語教育機関によるシンポジウム(JF)</li> <li>・(23日～3月4日)劇団(ARICA)の講演(JF)</li> </ul>	(11日)ジャパン・ハッパ
3月	・ショートフィルム紹介事業(日本ブランド発信事業)(未定)	
4月	・日本の世界遺産パネル展(JF)(未定)	
5月	・NDTVによる日本紹介番組の放映(5月、11月)	
6月	・折り紙イベント(未定)	
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師派遣(未定)</li> <li>・フォトコンテスト(未定)</li> </ul>	
8月	・各種講演、シンポジウムの開催(未定)	
9月	・JF巡回展(未定)	
10月	日本週間(10/26-11/4) <ul style="list-style-type: none"> <li>・JFF日本映画祭(JF予算)</li> <li>・祭り予算による大型事業(4, 5件)(JF予算)</li> <li>・日本祭り(日本人会、NGO共催?)</li> <li>・日本の文化起算紹介イベント(未定) 他</li> </ul>	
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィスキー、日本酒紹介事業(未定)</li> <li>・和食紹介事業(未定)</li> </ul>	・石見神楽講演
12月	・クロージングレセプション(未定)(日本ブランド発信事業?)	



## ①会長挨拶

---

### ▼当商工会として

→政治的・経済的・ビジネス的繋がりを強めるべく協力していく。

### ▼一部イベントの詳細については未定

→在ベンガルール総領事館から追って連絡

皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

---





## ②領事館からのご連絡

---



▶ 在ベンガルール総領事館  
総領事代理

▶ 河上 淳一 様



# 在ベンガルール日本総領事館からの連絡事項

二水会

2017年1月11日

総領事代理 河上 淳一

1. 領事事務所から総領事館への格上げ及び名称変更
2. 日本映画「杉浦千畝スギウラチウネ」上映会のご案内
3. 空港滑走路の日中閉鎖の予告

# 1. 領事事務所から総領事館への格上げ及び名称変更

- 2017年(平成29)年1月1日をもって  
旧: 在ベンガルール領事事務所 (Consulate of Japan)



新: 在ベンガルール総領事館 (**CONSULATE-GENERAL OF JAPAN in BENGALURU**) に格上げ。

- スタッフ及び住所・連絡先には変更なし。

**CONSULATE-GENERAL OF JAPAN in BENGALURU**

*1<sup>st</sup> Floor, Prestige Nebula*

*No. 8 - 14, Cubbon Road    TEL: +91-80-4064-9999*

*Bengaluru -560 001, INDIA    FAX: +91-80-4166-0114*

- 総領事の着任時期未定。

## 在ベンガルール日本総領事館からのお知らせ

### 日本映画「杉原千畝スギハラチウネ」上映会のご案内

- 日時: **2月12日(日) 午前9時00分～**
- 場所: **セント・ジョセフ大学・講堂** (St. Joseph College Auditorium) PB27094, 36 Lalbagh Road, Bengaluru, 560027
- 形式: 当日同講堂で開催されるJapan Habbaのステージイベントの一部として上映。日本語版・英語字幕付き。
- 留意事項:
  - ☆入場無料, チケットなし。但し友人知人のインドの方々とは是非お誘い合わせで。
  - ☆当初, **1月28日(土)に予定していた在ベンガルール・イスラエル総領事館との共催上映会**は, 諸般の事情により, **しばらく延期**させて頂くことになりました。併せお詫び申し上げます。
  - ☆本件**映画上映についてのお問い合わせ先**:  
総領事館・田中(080 4064-9999)まで。
  - ☆なお, Japan Habba全体の事項については, 久保木実行委員会副委員長にお問い合わせ下さい。

### 3. 空港滑走路の日中閉鎖の予告

○空港滑走路の増設工事の一環として、今般、先行して誘導路の改修・増築が行われる予定であり、右工事の開始に伴い、**2017年2月19日～4月30日の間、午前10時30分～午後5時までの日中**、現在1本しかない滑走路そのものが閉鎖される。

○直前の**2月14日～17日**には、近接のイエラハンカ空軍基地において、インド国防省主催、恒例(2年に一度)の「**アエロインディア航空ショー**」が開催。これらの航空ショーの**リハーサルおよび本番**に際しても、バンガロール国際空港の滑走路がその都度閉鎖される予定。

○増設される新滑走路は2019年9月に完成予定。

○詳しくは、同空港会社のホームページを参照。

<http://www.bengaluruairport.com>

## ③委員会活動報告

---

▶ インフラ委員会

▶ 黒澤 委員長

# 2017年1月 インフラ委員会発表資料

2017年1月11日(水)  
インフラ委員会



## 議題

インドにおけるスマートシティプロジェクトに参加するための方策案

## 講師

K P M G 田村 様

日時：12月9日(金) 17時30分より  
JETRO BANGALORE事務所





# インドにおけるスマートシティの背景

## 拡大する都市人口比率

	1951年	1971年	2001年	2011年	2050年
都市人口	7.97%	23.34%	27.81%	31.16%	>50%

## 顕在化する課題



都市への移住



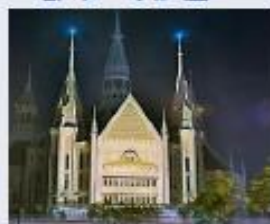
女性・子どもへのインフラ



手ごろな価格の住宅



移動システム



地方のインフラ



セキュリティ



高齢者へのインフラ



電力等の基本インフラ

# スマートシティ

## インドのスマートシティにおける特徴

インドにおけるスマートシティは、  
都市への人口集中化対策の  
側面が強い

インドの都市は基本  
インフラが整っていない



先進国における「スマートシティ」の定義にこだわらず、インドにおいては

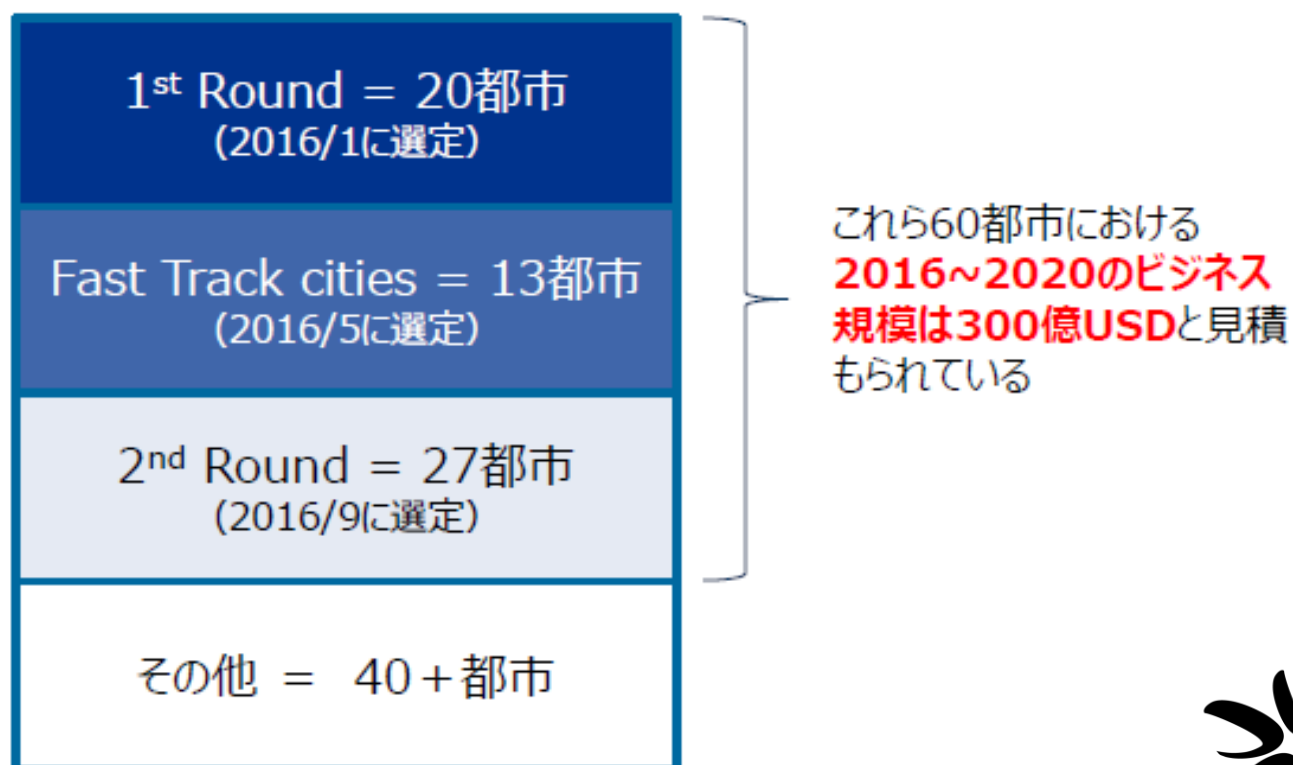
# City Transformation

として認識すべき。



# インドにおけるスマートシティ プロジェクトの現状

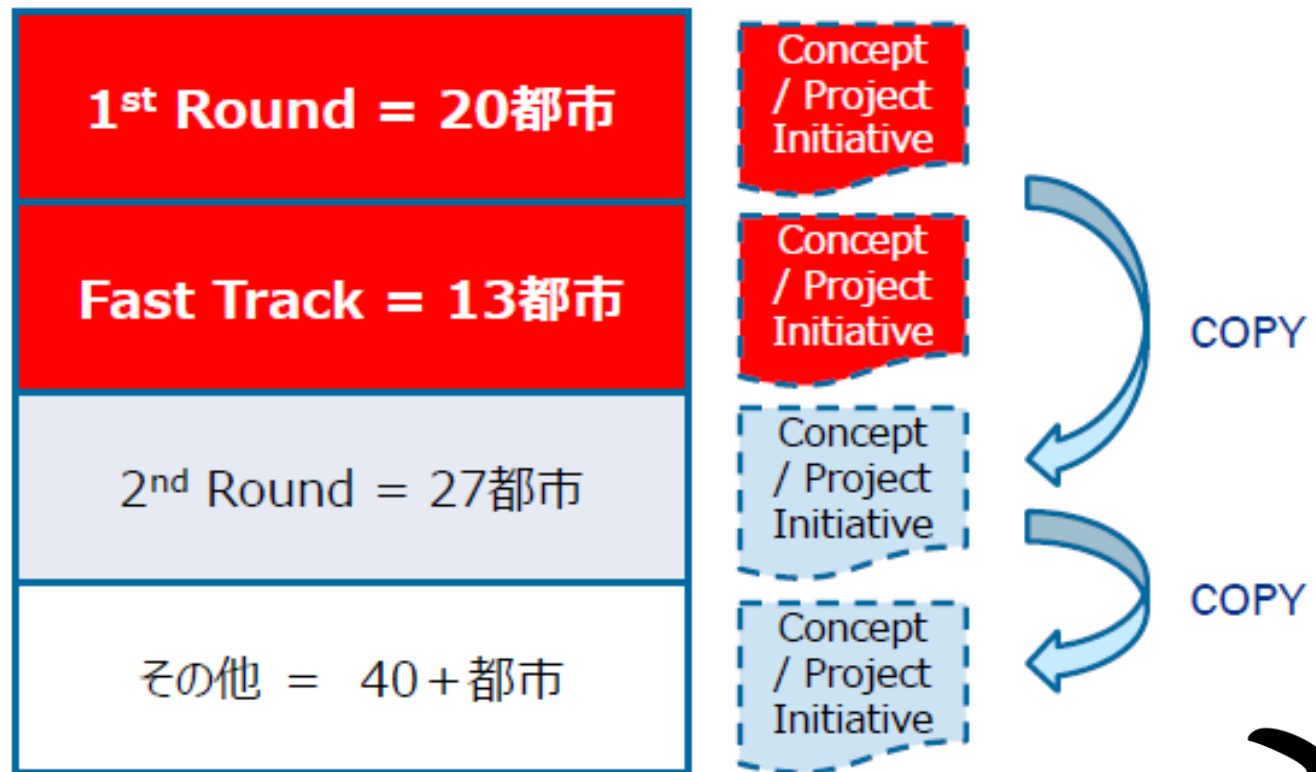
インドにおけるSmart Cities Missionには、計100以上の都市が対象となっているが、その中でもスマートシティ化する順番が決まっている。



# 注力すべきは33都市

1<sup>st</sup> RoundおよびFast Trackの都市は、財務およびガバナンスにおいて他の都市よりも優れている。  
これらの都市で定義されるコンセプト等が他の都市でコピーされる可能性が高いと想定される。  
結果として、**1<sup>st</sup> RoundおよびFast Track**に対してスペックインすることが最重要となる。

各都市は既にプロポーザルを提出、確定。  
→ハイレベルの仕様定義



# インドにおけるスマートシティ プロジェクトの現状

## 1<sup>st</sup> Round



## Fast Track





# 現時点で何が決まっているのか？（デリーのケース）

## Physical Infrastructure

- ✓ Urban Mobility & Smart Parking
- ✓ Sensor based Common Service Utility Duct
- ✓ Transformation of electric-Poles into Smart Poles
- ✓ Hierarchical Command and Control Centre
- ✓ Roof top Solar Panels
- ✓ Happiness area for the cultural and social needs of citizens
- ✓ Transforming sub-ways into vibrant spaces
- ✓ Signature Giant Smart Digital Screen
- ✓ Municipal Solid Waste Management

## Social Infrastructure

- ✓ Transforming Public Toilets into Smart Public Amenities Centre
- ✓ Financial, Identity, Ticketing & Access inclusion

## Value Infrastructure

- ✓ Introducing signature initiative to the city's Identity and Culture
- ✓ Behavioural transformation

既出のプロポーザルにおいて、  
上記のようなハイレベルな定義はされているが、  
**具体化はこれから**

出典：SMART CITY PROPOSAL New Delhi Municipal Council



# 想定される今後のスケジュール感

モディー首相の次の選挙時期までに一定の成果が上がっていることが必要。そこから逆算すると、今後4～6か月のうちに大体のスペックが決まってくるものと想定される。



# インドのスマートシティに関する留意点

## インド特有の スマートシティ

インドの場合は、**City Transformation**の色合いが強いため、個別企業がグローバルにて提供するスマートシティ・ソリューションがそのまま適用できるとは限らない。**インド固有のスマートシティ要件を確認する必要がある。**

## 州政府との関係性

スマートシティに関しては州政府も部局等ごとに動いている傾向があり、外資企業については、州政府と強いコネクションが無い限り、**州政府と直接やり取りすることが困難なケースもある。**

## Ease of Business

Brown Fieldが多いことから、土地の利権問題が解決していないプロジェクトなども多数存在している。そこで、**Ease of businessを事前に評価する必要がある。**





# インドのスマートシティ参入に向けてのステップ

Solution Matching	<ul style="list-style-type: none"><li>スマートシティのプロポーザル内容で自社のソリューションを担うことが可能な領域・都市を特定</li></ul>
Funding Strategy	<ul style="list-style-type: none"><li>都市によっては予算が少ない、PPPが有効でない、などの可能性もあるため、都市の財務要件を把握した上で、プロジェクトごとにFunding Strategyを策定（Solar powerには、それ専門のFundingが存在するなど）</li></ul>
Assess ease of Business	<ul style="list-style-type: none"><li>土地の所有権の問題等、Ease of Businessを評価</li><li>各都市のリーダーシップを評価し、現実的な推進体制を評価</li></ul>
Partner Eco System	<ul style="list-style-type: none"><li>プロジェクトに参入するにあたってのパートナー企業を選定。パートナー企業には、トータルソリューションを提供する上で必要となる企業や、フロントとして動く企業が含まれる。</li></ul>
Go to Market Plan	<ul style="list-style-type: none"><li>上記の要素を加味し、Go to Market Planを策定</li></ul>



## キーメッセージ

- 現時点で参入を検討すべきスマートシティの数は**33都市**程度。
- これらのスマートシティにおける**ハイレベルな仕様は既に定義**されているが、**定義の詳細化はこれから**。
- 結果として、日系企業にも入り込む余地はある。
- ただし、**スペックに影響を及ぼすことが可能な期間は実質的に今後4～6カ月**。その後は参入可能性が極端に下がる。
- 個別企業がグローバルにて提供するスマートシティ・ソリューションがそのまま適用できるとは限らない。結果として、基本インフラの整備等、**インド固有のスマートシティ要件を確認する必要**がある。



# 当日ご参加いただいた皆様



**ご静聴ありがとうございました。**



### ③ 委員会活動報告

---

▶ 税務労務委員会

▶ 黒柳 委員長

# 2016年度

## 第4回税務労務委員会開催報告

### 日時

2016年12月15日 17:00-19:00

### 場所

JETROベンガルール事務所会議室

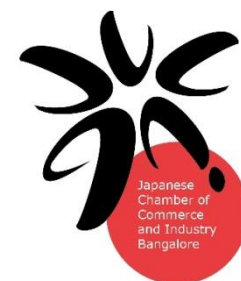
(会議室のご提供を有難うございました)

### 議事

17:00-18:00 (1) インドの保険事情

(Max Life Insurance 小柳様、Chola MS 志摩様)

18:00-19:00 (2) TP, BEPSの動向について (E&Y 山口様)





# 出席状況

## →17名のご出席者



# (1) インドの生保事情

講師：Max Life Insurance 小柳様

## 「人保険」の重要性

- ・ インドの社会保険制度は未整備であることから、自助努力による保険加入が必要
- ・ 福利厚生制度(人材確保)の充実のため、保険の活用

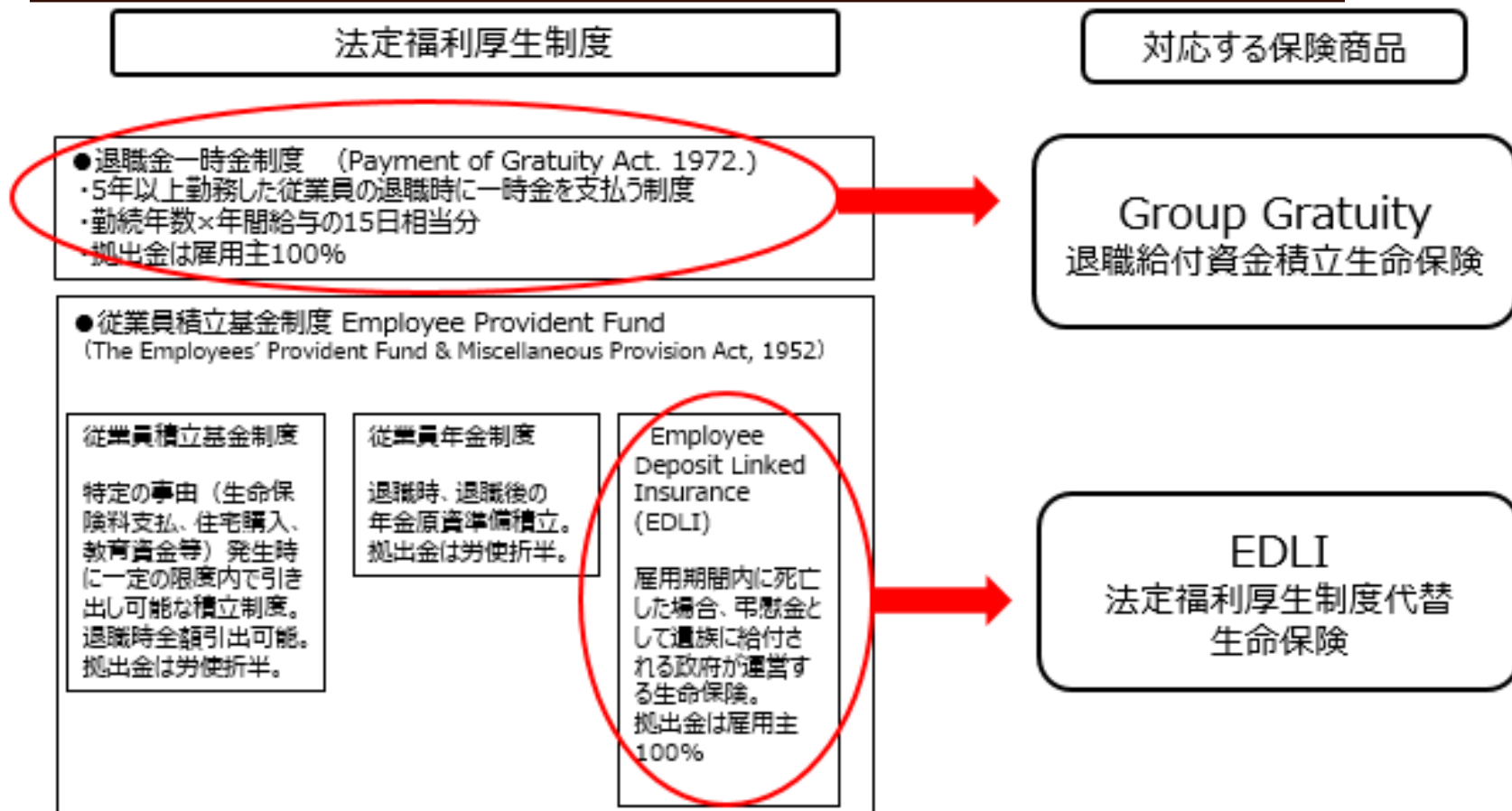
### 主要な保険

- **傷害保険**  
業務中(含休日)の災害・事故による死亡、後遺障害を保障
- **医療保険**  
ケガ、病気により病院で支払った手術代、治療費を保障
- **生命保険**  
業務中(休日含む)の病気・災害・事故による死亡保障



# (1) インドの生保事情

## 法定福利厚生制度と対応する生命保険



# (1) インドの損保事情

## 講師：Chola MS 志摩様

### 損害保険業界

- ・ 国営6社＋民間22社

ランキング		名称	本社所在地	特徴	元受保険料		増収率%
全体	民間				保険料	占有率%	
①		New India	ムンバイ	国営。日本にも支社あり。	2,504	17.4	15
②		United India	チェンナイ	国営	2,015	14.0	14
③		National	ニューデリー	国営	1,983	13.7	7
④		Oriental	コルカタ	国営	1,372	9.5	12
⑤	①	ICICI Lombard	ムンバイ	第二位の銀行とロンバルドとの合併。	1,335	9.3	21
⑥	②	Bajaj Allianz	ブネ	ドイツ企業の多いブネに本社を置く。	962	6.7	12
～							
⑪	⑦	Chola MS	チェンナイ	南インドの財閥、ムルガッパグループと三井住友海上の合併。2003年より営業。	405	2.8	30
～							
マーケット合計					14,425	100.0	14

－ 2016年度第4回税務務務委員会「インドにおける損害保険事情」 －

※無断引用、複製を禁じます。

- ・ 2009年規制緩和により、一定の範囲内であれば各社独自商品の販売が可能

# (1) インドの損保事情

## 企業活動リスクと主な保険

### ・工場新設の場合

主なリスク	保険
輸送中の事故	貨物海上保険、国内運送保険
火災・自然災害	火災保険、事務所総合保険
病気・けが	労災保険、傷害保険、団体医療保険、海外旅行傷害保険
交通事故	自動車保険

# (1) インドの損保事情

## 企業活動リスクと主な保険

### ・事業開始後

主なリスク	保険
生産物賠償	生産物賠償責任保険
輸送中の事故	貨物海上保険、国内運送保険
火災・自然災害	火災保険、事務所総合保険、動産総合保険など
病気・けが	労災保険、傷害保険、団体医療保険、海外旅行傷害保険
交通事故	自動車保険

### ・事務所等の場合

主なリスク	保険
火災・自然災害	火災保険、事務所総合保険
病気・けが	労災保険、傷害保険、医療保険、海外旅行傷害保険
交通事故	自動車保険

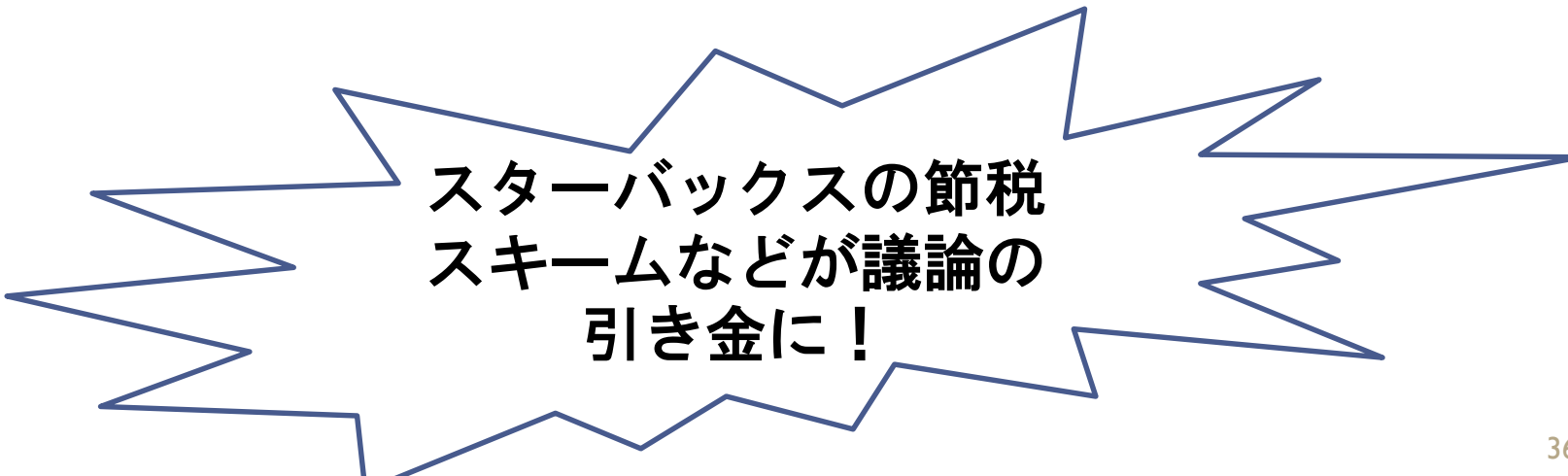
# (2) TP, BEPSの動向について

講師：E&Y 山口様

## 1. BEPSとは

BEPS＝Base Erosion and Profit Shifting＝税源浸食と利益移転

OECDによる多国籍企業の行き過ぎた節税への対応として15の行動計画を定めて国際的にモニタリングを行う



スターバックスの節税  
スキームなどが議論の  
引き金に！

# (2) TP, BEPSの動向について

## 2. インドにおけるBEPS対応

- Equalization Levyの導入(行動計画 1)
- 事業の実質的管理の場所(行動計画 3)
- 特許収入に関する規定(行動計画 5)
- 租税条約の見直し(行動計画 6)
- 移転価格の文書規定(行動計画 1 3)
  - マスターファイル
  - ローカルファイル
  - 国別報告書

## (2) TP, BEPSの動向について

### 3. 移転価格の動向

モディ政権下で、投資家フレンドリーな税務行政を構築する努力を継続

代替的な訴訟メカニズムの導入への取り組み

- ・ APAの導入
- ・ 相互協議（MAP）を通じての紛争解決
- ・ APA規定にロールバックを導入

インドTP規定とグローバルスタンダードの整合

- ・ ALPの算定（算術的平均値方式に加えてパーセンタイル方式によるレンジの導入）
- ・ 複数年のデータ使用の受け入れ

TPオーディット選定基準をリスク基準へ変更

- ・ TPオーディットの選定を金額基準からリスク基準の選定にリプレイス
- ・ 高裁判決に対して税務当局がさらなる上訴を見送り

## (2) TP, BEPSの動向について

### 4. BEPSがもたらす影響

- ・ 多国籍企業によるバリューチェーンの再編、見直し
- ・ 国別最適アプローチからグローバル最適アプローチへの移行
- ・ コンプライアンス負担の増加
- ・ クロスボーダーでの情報交換の拡大
- ・ 透明と実体



### (3)その他ーご連絡事項

- 次回は2月8日(水) 17:00-19:00の予定
- 場所: JETRO 事務所会議室
- テーマ ( )内は講師の方々  
各種行政手続の動向と輸出優遇策の活用事例  
について (JCSS 久保木様)  
2017年度インド予算案 (Deloitte 松木様)

皆様のご出席を歓迎します。

### ③ 委員会活動報告

---



#### ▶ 建議書委員会

#### ▶ 久保木 委員長





# 建議書委員会報告

2017年1月11日(水)

第42回二水会

## 第8回ダイアログ・モニタリング委員会フォローアップ・アクション・プラン(8<sup>th</sup> Round Dialogue & Monitoring Committee meeting held on Aug 30, 2016)

2016年11月11日に第18回建議書委員会を開催した結果を踏まえ、以下5項目について、KUMにアレンジを申し入れ済み。

### 1.投資環境整備(許認可手続きの簡素化)

(1) “e-Udyami” および “Kaigarika Bhoomi” 活用に関するワークショップを、2月下旬までに開催を希望。

(2) 商工会のコアグループと、産業コミッショナーおよびKIADB総裁で許認可手続きの更なるオンライン化・簡素化を協議する。

- a. オンライン化にすべき項目として、PESOを建議
- b. オンラインで申請する際の、ガイドラインの公開を要請
- c. その他、FAR(建ぺい率)について照会する。

# 第8回ダイアログ・モニタリング委員会フォローアップ・アクション・プラン(8<sup>th</sup> Round Dialogue & Monitoring Committee meeting held on Aug 30, 2016

## 2. PWD(公共事業省)との協議

- (1) バンガロール周辺の道路整備の状況
- (2) ビダディ工業団地の新パイプライン敷設
- (3) ビダディ工業団地とNICEロードの接続

## 3. KAIDBおよびBWSSBと、ナラサプル、ヴェームガル、マールール各工業団地向けの“40MLD 第3次処理水プロジェクト”の現状確認

## 4. バンガロール市内道路混雑緩和措置の状況に関する関係部門との協議



## インド中央政府宛の建議書

2016年10月24日に開催された第1回全体会議の議事録が、12月9日に、日本側から、インド政府(商工省DIPP)に提出された。

特に重要な問題点は、以下の2点

- (1) 日印租税条約に基づく、配当税の廃止
- (2) BIS(インド工業規格)に基づく、商品テスト報告発行義務の廃止。国外のTest機関がGlobal Standardである『IEC』基準を満たしていれば、CB Reportなどの国外発行のレポートをBIS申請について認めるべきであると建議。

カルナタカ州政府との、バンガロール周辺道路整備については「進展中」とだけの記載。



建議事項を、建議書委員にお寄せ下さい。  
プロジェクト支援委員会で、問題提起をお願いします。

ご清聴ありがとうございました

## ④ テーマ報告

---



# ▶ 2017年インドルピー見通し

## ▶ みずほ銀行アジア・オセアニア資金部

副部長 渡辺様





Discussion purpose only

# 2017年インドルピー見通し

2017年1月11日

みずほ銀行  
アジア・オセアニア資金部

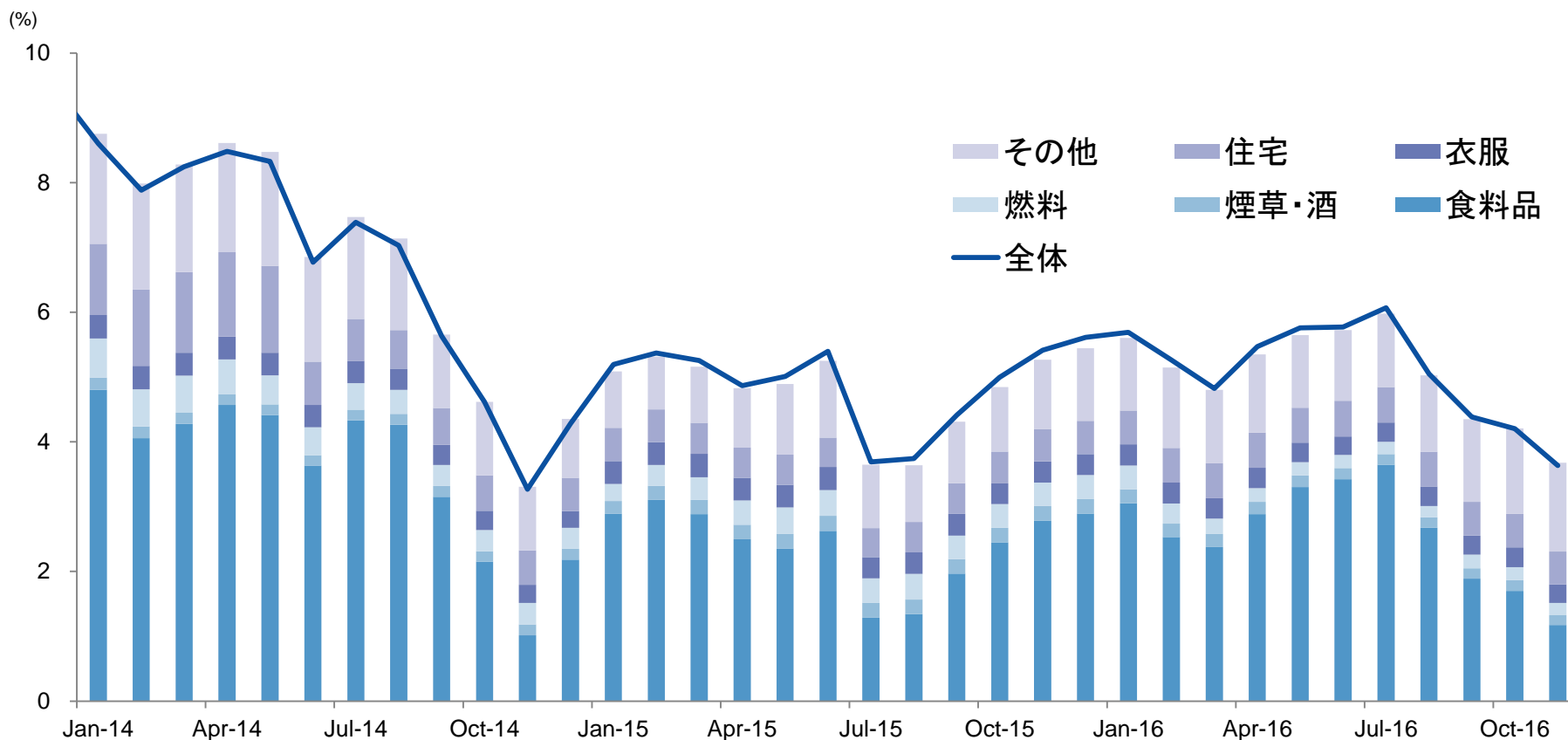
# インド経済成長率(GDP)

## ◆ 5四半期連続で7%超の成長を記録



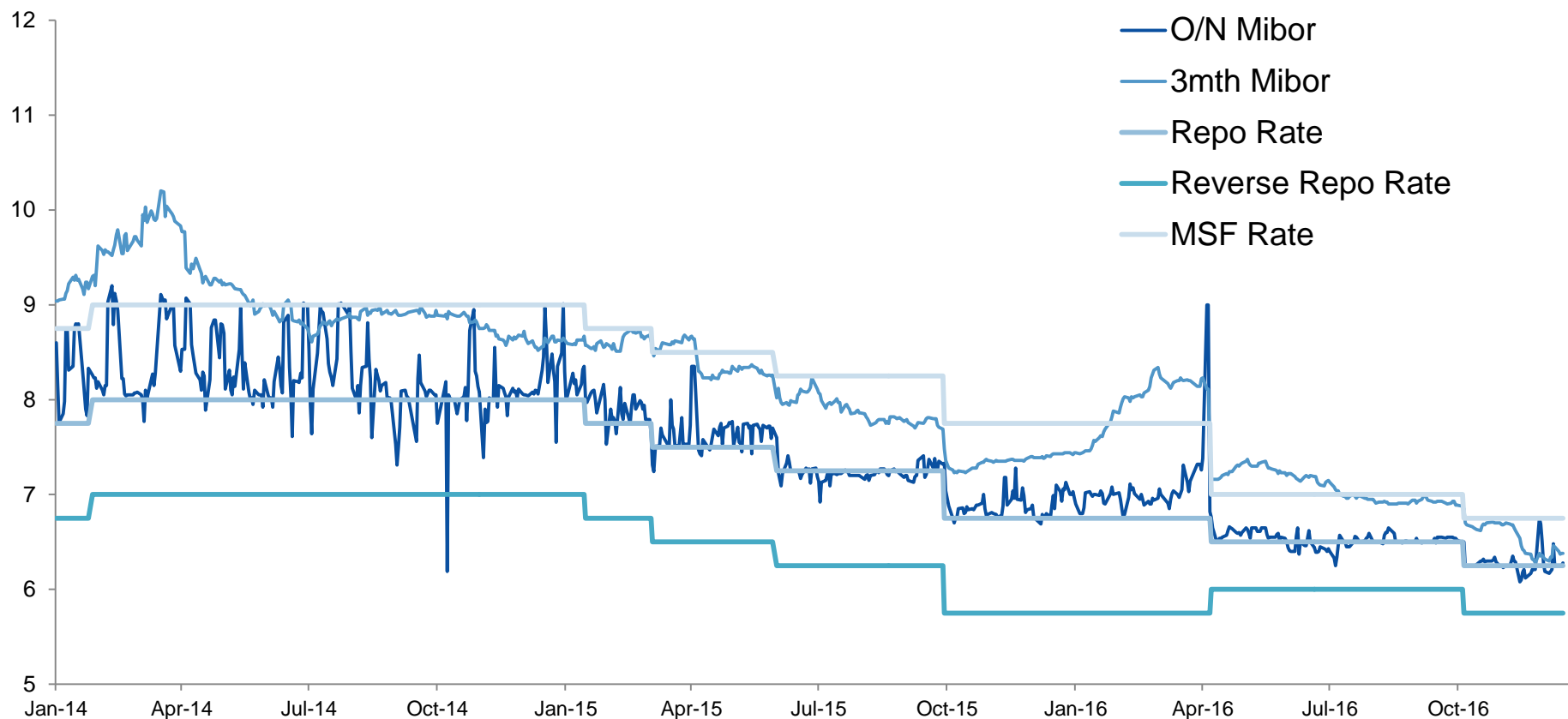
# インド消費者物価指数(前年比)

## ◆ 上下動ながらも低下基調



# インド政策金利と短期市場金利

◆ 2015年初より6回の利下げを断行



# 米ドル/日本円

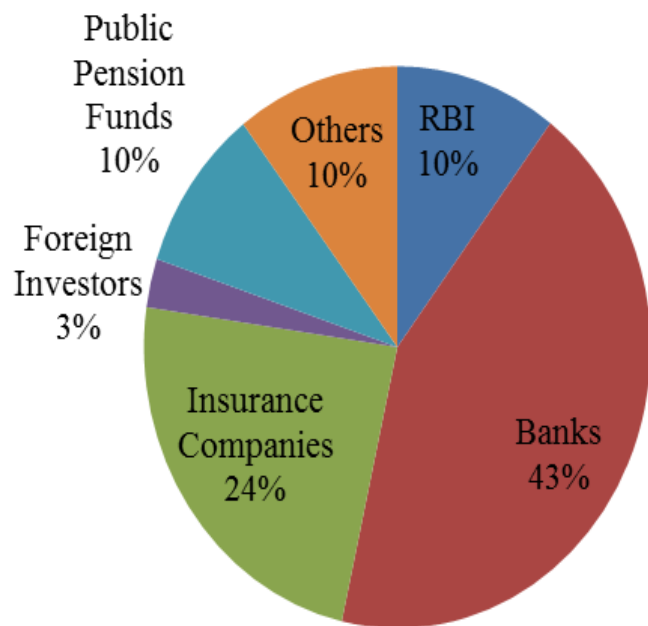


# 米ドル/インドルピー

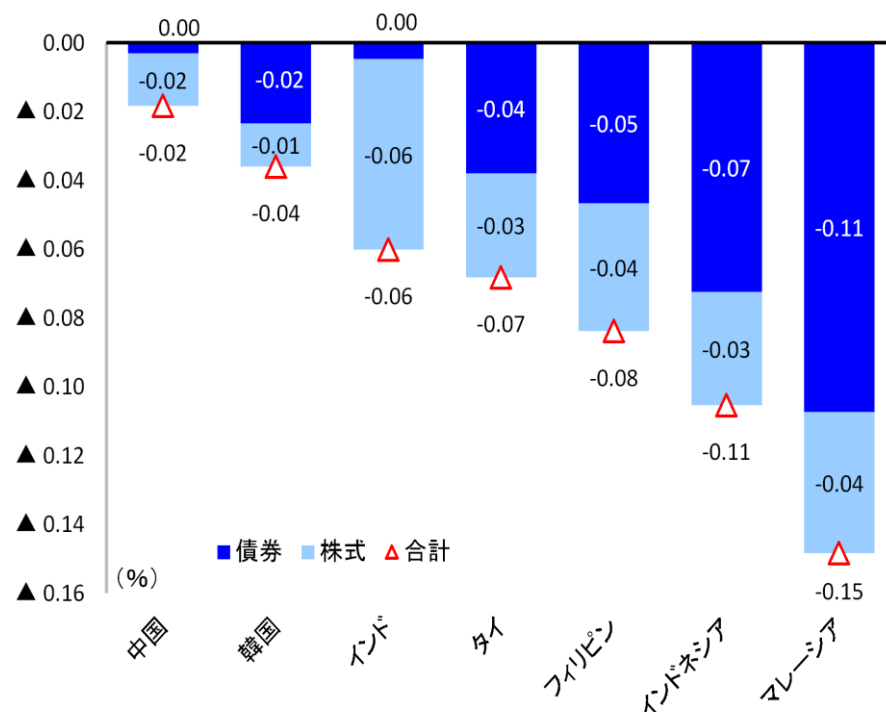


# 新興国の中では強いインド

## ◆ インド国債は外国人保有比率が低く、売られにくい



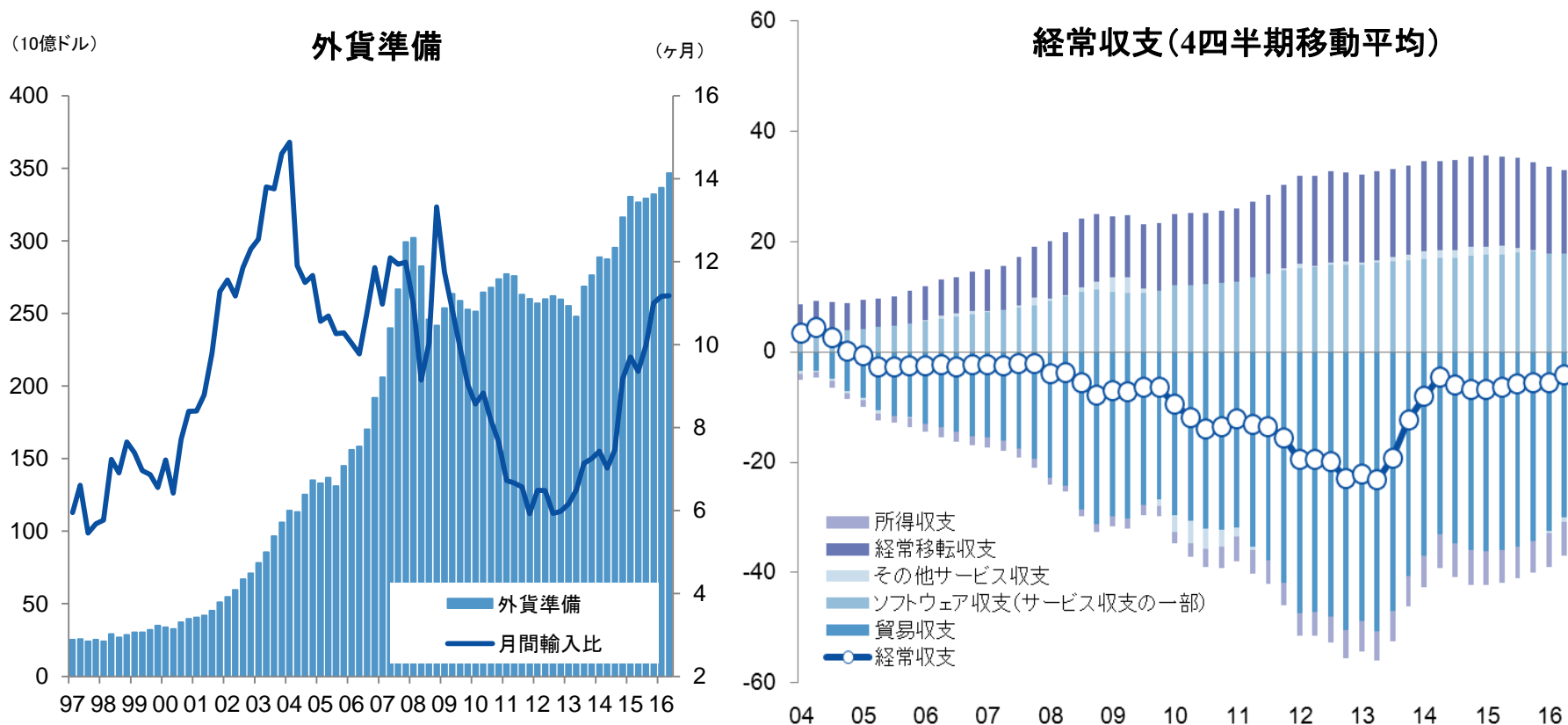
インド国債保有主体別割合



11/8~22の株式・債券市場の動き

# 新興国の中では強いインド

## ◆ 外準、経常収支共に過去の通貨危機時とは比べ物にならない

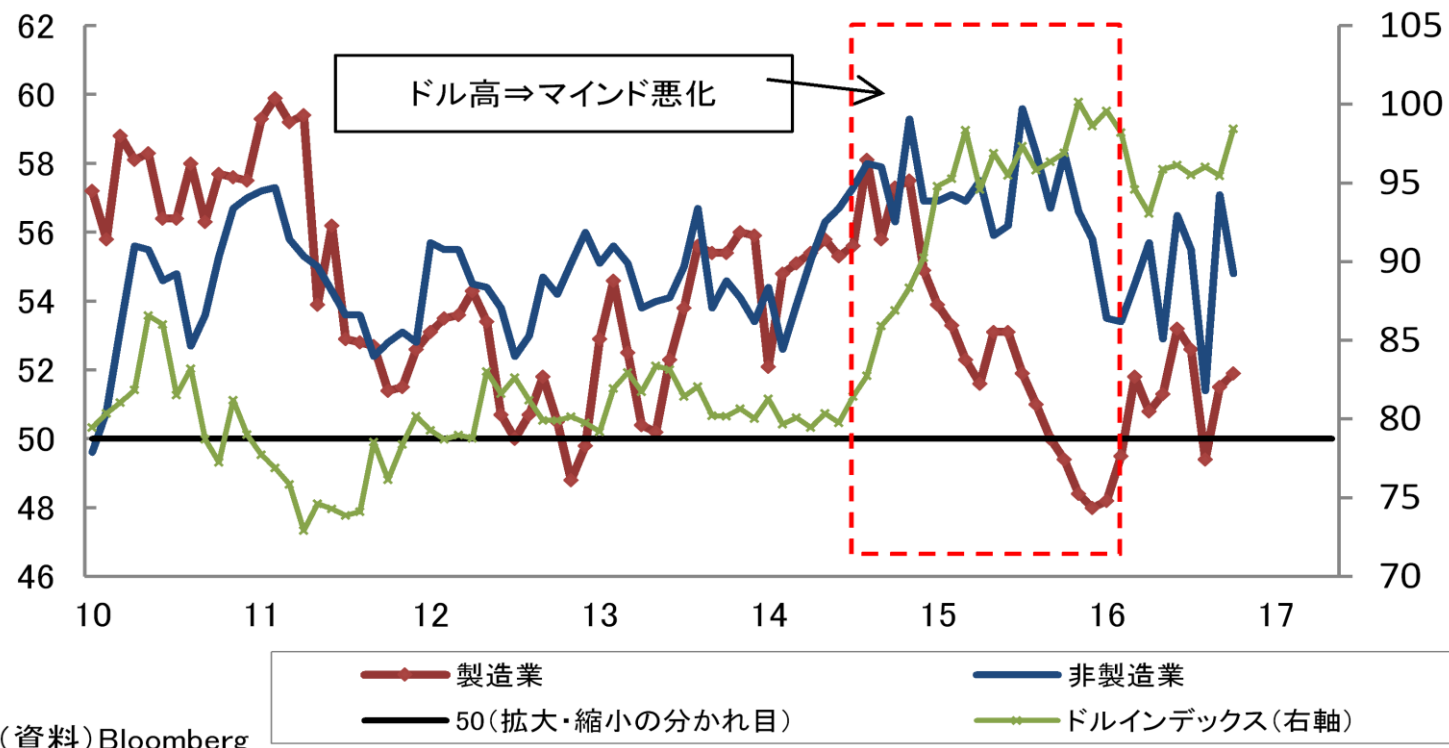




# 米通貨政策のバロメーター

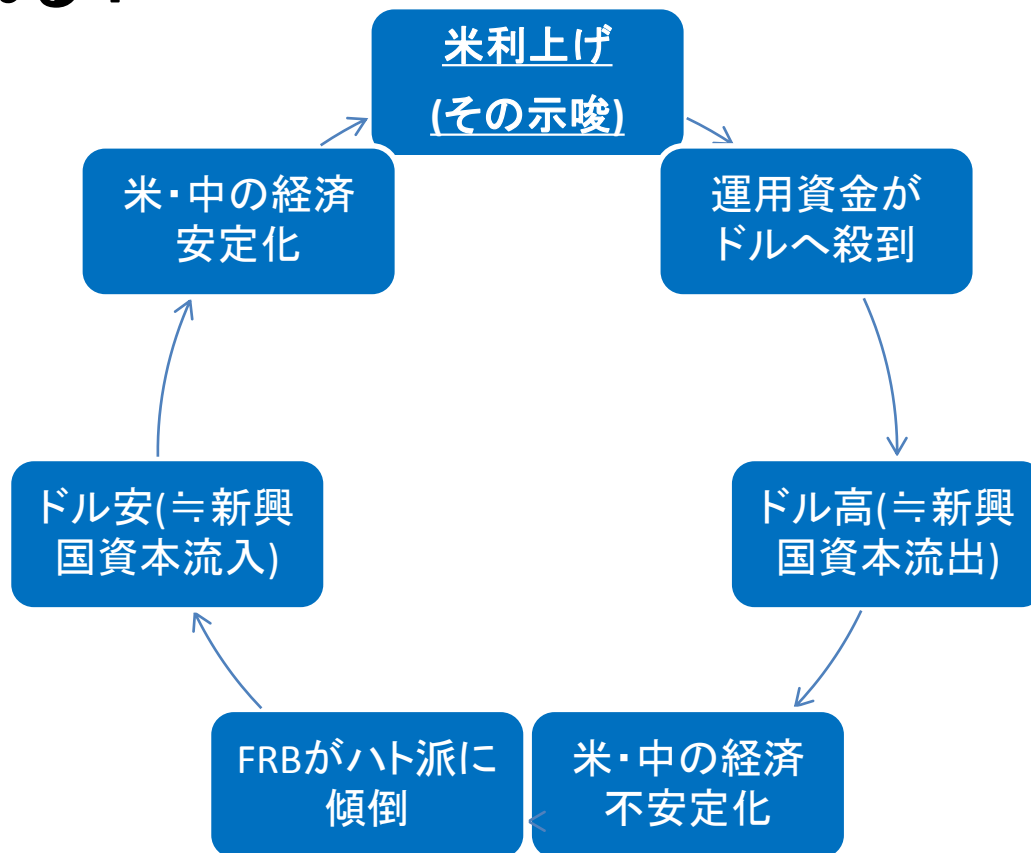
## ◆ 2014年以降のドル高相場で米製造業のマインドは悪化

米ISM製造業・非製造業景気指数の推移



# 米利上げを巡る悪循環イメージ

- ◆ ドル全面高で新興国からの資本流出加速。国際金融市場は耐えられる？



# みずほ銀行ハウスビュー

	Jan – Mar	Apr – Jun	Jul – Sep	Oct– Dec	Jan – Mar 18
USD/INR	66.2 – 71.9 (70.0)	65.7 – 70.0 (67.5)	64.5 – 68.1 (66.3)	63.8 – 67.2 (65.5)	63.3 – 66.7 (65.0)
JPY/INR	0.58 – 0.65 (0.60)	0.59 – 0.63 (0.60)	0.58 – 0.63 (0.61)	0.59 – 0.64 (0.62)	0.61 – 0.65 (0.63)
Repo Rate	6.00%	5.75%	5.75%	5.75%	6.00%
USD/JPY	109 – 119 (116)	107 - 117 (112)	106 - 116 (109)	103 - 113 (105)	102 - 112 (104)

- ◆ 米金利上昇が止まる場面では、新興国の中で投資先として魅力的なインド
- ◆ トランプ次期大統領とモディ首相は関係良好
- ◆ より長期では原子カプラントの話もある

- ◆ 当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。
- ◆ 当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。
- ◆ 投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。
- ◆ また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

## ⑤ 新規会員のご紹介

---

■KNM Management Advisory Services : 雌様  
Pvt. Ltd.

■Dentsu India Pvt. Ltd. : 篠田様

■EPCOS India Pvt. Ltd. : 谷本様

現会員数: 145社



## ⑥ 事務局からのご連絡

---

### (1) ジャパンハッバへの協力・協賛について

# 文化交流行事 “ジャパン・ハッバ2017”

[テーマ] 招き猫 Manekineko – 福はみんなに – May luck favor all

[日時] 2月12日（日曜日）、2月11日（土曜日） 前夜祭

[場所] セント・ジョセフ・カレッジ講堂

[目的] 日本文化紹介、日本、南インドの友好促進、日本語学習意欲の増進

[イベント] 着付け、茶道、書道、生け花、折り紙、日本の玩具、古本市、

日本クイズ、劇映画「杉原千畝」

日本語劇、カンナダ語劇、日本・カンナダの歌、ボリウッドダンス

武術、盆踊り、日本関連グッズの展示・販売その他

[主催] ジャパン・ハッバ・トラスト

[共催・後援・協力]

バンガロール日本人会、在ベンガルール日本総領事館、バンガロール日本商工会

カルナータカ印日商工会議所、ロータリークラブ、さくら会、人生道場



# 交流行事 “ジャパン・ハッバ2017”

[特別出演予定者]

**特別講演 — 平松賢司 駐インド特命全権大使  
(予定)**



**太鼓奏者 — 金子竜太郎 かねこりゅうたろう**

1987年より和太鼓集団「鼓童」の中心的プレーヤーとして  
20年間活動後、独立。世界6大陸41ヵ国にて演奏。





# 交流行事 “ジャパン・ハッバ2017”

## [特別出演予定者]

### 篠笛奏者 — 狩野泰一 かのう やすかず

1987年、「鼓童」のメンバーになって以来、カーネギーホールを始めとする世界20カ国で1000回を超える公演に参加し、1997年に独立。世界30カ国で2,000回を超える公演をし、映画、テレビ、演劇等の音楽プロデュースも手がけている



### 歌手 — SHIHO RAINBOW

オリジナル作品を歌とダンスで伝え、明るく個性的なステージで『世界中で活動する』という高い目標の実現を真剣に目指す、エネルギー炸裂系女子



# 文化交流行事 “ジャパン・ハッバ2017”

## [ステージ出演者募集]

会場内ステージで披露いただく演目を募集いたします。

日印文化交流の促進のため、皆様の貴重な特技、経験をご披露いただけませんか（テーマ「招き猫」にちなんだ演目も歓迎致します。）

## [お願い]

- 協賛金、各種賞品提供
- 日本文化紹介ブースへのご協力
- ボランティア募集
  - 受付、日本の伝統的なおもちゃ紹介コーナー



## [問い合わせ先]

副実行委員長 久保木、 小江

皆様の多大なるご協力を心よりお願い申し上げます。



- ・協賛の確認書は、1月14日（土）まで
- ・広告素材は、1月16日（月）まで

「協賛確認書」送付先  
副実行委員長 久保木様  
**kuboki@jcsglobal.com**

## ⑥ 事務局からのご連絡

---

(2) 次回二水会(第43回)は、  
2017年3月8日(水)開催予定です。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。